

# ホッケー競技の普及について

埼玉県高体連ホッケー専門部 皆野高校 藤井 靖士

## 1. ホッケーについて

フィールドに立てるのはサッカーと同じ11人で、1人のゴールキーパーと10人のフィールドプレイヤーによって構成されます。ホッケーでは、選手交代は自由で、なおかつ何回でも交代できるので選手交代のタイミングが試合を大きく左右します。競技フィールドは横55m×縦91.4mで、ゴール前に14.63mの半円があり、半円の中からシュートを打たないと、得点とみなされません。従ってサッカーのようなロングシュートはありません。(日本ホッケー協会ルール解説より)

日本代表は現在、男子が世界ランク16位、女子が10位となっており、リオオリンピックに女子が出場しましたが予選リーグで1勝も挙げることができず10位という結果になりました。

日本のトップリーグも存在し、男子13チーム(1部2部含む)、女子10チームで開催されています。なお、埼玉県のチームは男子のリーグに3チーム、女子リーグに1チーム所属しています。

## 2. 埼玉県における高校ホッケーの現状

### ● 団体について

男子 ・飯能南高校 ・慶応義塾志木高校 ・聖望学園高校 ・皆野高校

女子 ・飯能高校 ・皆野高校

### ● 大会について

- ・4月：関東大会1次予選
- ・5月：学総体兼関東大会2次予選
- ・8月：国体関東ブロック予選 → 10月：国体
- ・10月：新人戦 → 11月：関東選抜 → 3月：全国選抜 ※来年度より12月に変更

### ● 近年の大会成績

- ・男子 … 26年度全国高校総体 ベスト8(飯能南)  
27年度関東高等学校選抜大会 準優勝(飯能南)
- ・女子 … 26年度全国高校総体 3位(飯能) 27年度全国高校総体 3位(飯能)  
27年度全国高等学校選抜大会 ベスト8(飯能)

### 3. 問題点

日本におけるホッケーの競技人口は約3万人と言われております。オリンピック種目に採用されているように世界に目をやれば競技人口は多いのですが、日本では少ないのが現状です。さらに競技者が少ないだけでなく、ホッケーというスポーツ自体の認知度も低く、マイナースポーツと言わざるを得ません。

ホッケーは硬いスティックで、野球の硬球よりも硬いプラスチック製のボールを扱い、ボールスピードは150km～200kmにもなります。また、選手間の接触プレーや振り上げたスティックが当たるなど、競技特性上ケガの危険性があります。そのことが小学生や中学生への普及が滞る原因であると考えます。そういったなかで指導者も非常に少なく、教える側も素人が簡単に手を出せる競技ではありません。

### 4. 普及のために

マイナースポーツが脚光を浴びるためには、第一に日本代表の活躍が挙げられると考えます。女子サッカーやラグビーのように活躍がメディアで取り上げられるようになることで世間の注目度も上がり、体験してみようという人が増えると思われれます。

また、ホッケーに触れる機会が増えることも大切です。埼玉県飯能市では、県ホッケー協会がホッケー教室を行い子供達が誰でも体験できる場を設けています。その中からスポーツ少年団やジュニアのクラブに入り活動しています。そのクラブでは日本代表が直接指導をしてくれるという他の競技ではめったにない経験をすることもできます。また数年前より教育委員会の協力によりホッケーの町飯能推進事業として市内の全中学校の体育の授業でホッケーを取り入れています。これらの経験からホッケーを高校、大学と続けてみようという子供たちが増えていけば理想的だと思います。

スポーツ少年団、中学、高校、大学、実業団（クラブチーム）といった縦のつながりを充実させ、互いに連携することでホッケーの普及につながるのではないのでしょうか。